

東京青高同窓会

今回の号は、電子版で発行することになりました。(電子版出の発行に至る経緯の詳細は5ページにて)

次回の第48回総会・懇親会は5月10日(日)に上野精養軒で開催いたします。講演は鈴木 祐太氏(青高51回)で、演題「経営目線で見た青森の課題と生き残り戦略」です。(詳細は4ページ 企画幹事あいさつをご覧ください。)

東京青高同窓会 会長 あいさつ

東京青高同窓会 会長 永田雅之(青高31回)

令和8年を迎えられ、東京青高同窓会会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度のはじめとして、令和7年2月28日・3月1日に開催された青森高校同窓会入会式・卒業式に参加し、卒業生の皆さんへお祝いの挨拶と東京青高同窓会の紹介をさせていただきました。239名の卒業生が新たな世界へ希望を胸に飛び立てた。また、青森高校では初めてのAO入試での東京大学進学者をはじめとして優秀な卒業生がまた新しい未来へ挑戦していく姿に頼もしさを感じました。そして、5月11日(日)には、第47回総会・講演会・懇親会を上野精養軒で開催いたしました。対面での再開から2回目でしたが、当日は約230名の会員の皆様にご参加を頂き、大盛会となりました。旧友や同窓との再会、世代を超えた交流、そして多くの笑顔が溢れておりました。当日は、青森高校高橋英樹校長、青森高校同窓会沼田廣会長、青森市西秀記市長に来賓としてご参加を頂きましたこと改めて御礼申し上げます。また、当番幹事の50回生と受付幹事の35回生の皆様のご協力にもこの場を借りて感謝申し上げます。

令和8年を迎えましたが、人口減少・少子高齢化は歯止めが利かず、緩やかな回復傾向にあると言われておりますが諸物価高騰・消費の鈍化はまだ続いている社会情勢です。当会におきましても、同窓会会員の減少、同窓会費収入減、コロナウイルス以降の懇親会参加者減少により、会の運営が大変厳しい状況となっております。そこで誠に心苦しいのですが、会員の皆様にお詫びと報告がございます。まず、現在ご覧いただ

ている会報につきまして、経費削減策として今年度の印刷配布を取りやめております。

電子版での閲覧および印刷は可能となっております。また、総会・懇親会の通常開催を行うために、懇親会参加費を従

来1000円から500円に値上げさせていただきます。会員の皆様にはご不便をお掛け致しますが何卒ご理解を賜りようお願い申し上げます。令和8年度の第48回総会・講演会・懇親会は、5月10日(日)11時より上野精養軒で開催することになっております。本年度の当番幹事は51回生、受付幹事は36回生となっており、すでに企画や準備に取り掛かっておりますので、盛大で楽しめ、絆を深められる懇親会になるものと大いに期待しております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

今年は60年に一度の丙午であり、勢い・成長・新しいものが生れ出る年と言われております。東京青高同窓会は2年後に創立50周年を迎えます。記念総会に向けて、「第50回記念総会特別委員会」の体制や記念事業などは総会にて報告させていただきます。また、会員管理の簡素化・業務負荷軽減と会員増強が必須課題となっておりますが、新たな会員管理システムの導入も検討しており、同窓会への関心・参加を高めるために、IT化・電子化による発信強化を継続して行なって参ります。

結びに、伝統ある東京青高同窓会を未来永劫継承していくためにも、役員・幹事・委員の皆さんと協力し、



準備中です